

第十七回徳川記念財団コンクール in 岡崎

徳川家康公

作文コンクール



「東照大権現像(霊夢)」
徳川記念財団所蔵

課題：「家康公と天下を取らせた三河の風土」

題名・内容は自由

応募期間：令和2年9月1日(火)～9月30日(水)

主催／公益財団法人 徳川記念財団

後援／岡崎市、岡崎市教育委員会、岡崎商工会議所、中日新聞社、大樹寺、伊賀八幡宮

協力／タニザワフーズ(株)、一般社団法人 徳川家康公に学ぶ会、岡崎信用金庫



徳川宗家十八代当主
徳川記念財団理事長
徳川 恒孝



徳川宗家十八代当主
徳川記念財団理事長
徳川 恒孝

岡崎は、徳川家発祥、家康公誕生の地、また、三河武士のふるさとです。こうした岡崎にちなんだ作文コンクールが始まって、17回目を迎える今年は、コロナウイルスの大流行で、学校も休校になるなど、普段とは大きく違う年になっています。外に出られずに、うずうずしている方も多いかと思いますが、こんな年だからこそ、家康公や三河武士を題材に、戦国時代や265年に及ぶ江戸時代の人々の暮らしや生き方を考え、そして文章にしてみる機会にしてみたいと思います。

ぜひ、たくさんの作文を寄せてください。

(YouTube) 市橋章男 歴史チャンネルも参考にしてください。

源頼朝は1192年征夷大将軍に任ぜられ、足利尊氏は1338年に、そして徳川家康公は1603年に、皆この風土から「征夷大将軍」へと上り詰めていったと考えても良いでしょう。



天恩寺

三人の「征夷大将軍」——三河の風土が育んだ天下人たち
岡崎市北東部の山中にある滝山寺。昔から修験者（修行をするお坊さんたち）の道場でもあったこのお寺に、大変美しい一体の仏像があります。「聖観音立像」。国の重要文化財にも指定されているこの仏像は、鎌倉幕府を開いた源頼朝と同じ身長であり、その胎内には頼朝の口髭と歯が納められているのです。武士の時代を創った頼朝と、この滝山寺には深い関係があったことを示しています。どのような関係があったのでしょうか。
家康公が生まれるずっと前の十二世紀中頃、頼朝の母方の祖父藤原季範は熱田神宮の大宮司（一番偉い宮司）であり、額田を領地として治めていました。そのようなことから滝山寺には頼朝の叔父や、従弟がお坊さんとしていたのですが、彼らが頼朝を助けたり、また大変仲良くしたのです。頼朝は鎌倉幕府を開くと、弟の範頼を三河国守に任命し、この三河を幕府の直接の領地と定めました。このようなことから、頼朝の死後には寺の中にお堂を建て聖観音像を祀ったのです。
源頼朝の先祖は「八幡太郎」と呼ばれている源義家、源氏の棟梁として武士たちに尊敬された人物です。その義家から出た一族に足利氏がいます。鎌倉時代の半ばころには足利氏の三代目当主・足利義氏がこの三河国の守護を任せられました。義氏は一族の多くを矢作川の流域に呼び寄せ、それぞれの地を治めさせました。一族の武士たちは治めた地名を名字にしたことで、細川氏、仁木氏、長瀬氏、戸賀崎（戸崎）氏、上地氏（以上岡崎市内）、今川氏、吉良氏、一色氏などが生まれたのです。さらに彼らの家臣たちもこの地域に多く居住しました。特に粟生氏や倉持氏、高氏などがいます。彼らは鎌倉時代が終わると、足利尊氏が征夷大将軍となつて室町幕府を開くと、幕府の重要な役について支えました。尊氏は生前、自分の第二の故郷でもあるこの三河の地に、立派な寺院を建てたいと願っていましたが、孫の三代義満の時に実現しました。それが天恩寺（岡崎市片寄町）です。
やがて豊田の松平郷に興った松平氏が勢力を伸ばし、家康公の時に三河を統一することになります。家康公を支えた三河武士たちの多くも、そして家康公自身も、源氏、足利氏と続く三河の風土に育まれて成長をしたのです。



伝源頼朝像

第17回「徳川記念財団コンクール in 岡崎」徳川家康公作文コンクール募集要項

課題 「家康公と天下を取らせた三河の風土」 題名・内容は自由

自分の住む三河の風土、家康公や三河武士たちについて、本を読んだり、調べたり、近所の史跡に行つて観たり、聞いたりして、感じたこと・思ったことを書いて下さい。

【参考例】 ①「三河武士のやかた家康館」に行つてみて
③私の、僕の住むまちの史跡と家康公について

②家康公と家康公を支えた三河武士たちについて
④いまに残る伝統行事、祭礼、産業、食と家康公について

対象 岡崎市内の小・中学校に在学中の児童・生徒

応募規定

- 応募作品は自作の未発表のものに限り、1人1編とします。 ●作品の著作権は、主催者に帰属します。
- 作品の返却はしませんので、必要な場合は事前にコピーをして下さい。 ●日本語により表記されたものに限りです。
- 作品の枚数は表紙を除き400字詰め縦書き原稿用紙で、小学校1・2年生は1枚程度、小学校3年生は2枚程度、小学校4～6年生と中学生は4枚程度とします。(図表も必要な場合は含む) 右上端をホチキスで留めてください。
- 鉛筆 (HBまたはB) で濃く書いてください。応募する児童・生徒の直筆に限りです。ワープロ・パソコンの作品は受理できません。
- 作品には表紙を付け、「題名」、応募者の「学校名、学年、名前(ふりがな)」を記入してください。

応募期間 令和2年9月1日(火)～9月30日(水) 当日消印有効

送付先 応募は学校ごとに取りまとめて応募リストに必要事項をご記入のうえ、作品と同封し送付して下さい。
送付先 〒444-0912 岡崎市井田西町1番地2 タニザワフーズ(株) 徳川記念財団コンクール in 岡崎 係

審査要項

最優秀作品	徳川賞 1編		
優秀作品	家康賞 3編	岡崎市賞 1編	岡崎市教育委員会教育長賞 1編
	岡崎商工会議所会頭賞 1編	中日新聞社賞 1編	大樹寺賞 1編
	伊賀八幡宮宮司賞 1編	龍城神社宮司賞 1編	

10月中旬に審査を行い、最優秀賞1編、優秀賞10編、合計11編程度を選定する。

受賞者に賞状ならびに副賞を授与いたします。
応募者全員に参加賞を差し上げます。入賞発表は11月初旬に行い、各所属小・中学校を通じ入賞者へ通知します。

その他

入賞者名及び優秀作品の一部は、公益財団法人 徳川記念財団のホームページに掲載します。また、入賞者は、報道発表において、氏名・学校名・作品・顔写真を掲載される事がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

公益財団法人 徳川記念財団 〒151-0065 東京都渋谷区大山町37-6 Tel:03-5790-1110 Fax:03-5790-2621 http://www.tokugawa.ne.jp
タニザワフーズ株式会社 〒444-0912 愛知県岡崎市井田西町1番地2 Tel:0564-21-9171 Fax:0564-26-2209